

常盤だより

第503号
常盤小学校
常盤幼稚園

つながりの中で育つ子ども

副校長 関澤 里織

しんと静まり返った校舎に、もうすぐ「Good Morning!」という元気な声とともに、日に焼けた顔、身長も少し大きくなってたくましくなった子どもたちが学校に帰ってきます。44日間の長い夏休みの思い出やお土産話を友達とすることを楽しみにしているのではないのでしょうか。

夏休みになると毎年、私は子どもとのつながりが少なくなる期間となり、さみしく感じます。しかし、7月27日に行われた毎年恒例の「日本橋橋洗い」では、町内会や企業の皆様と共に、本校の子どもたちもたくさん参加し、炎天下の中、汗だくになりながらデッキブラシで路面を磨いている姿を見ることができました。私が住んでいる北千住は、今年「千住宿400年」。私も日本橋を磨きながら、この日本橋から千住まで日光街道が400年もの長い時間つながっているのだと感慨深く、貴重な体験をさせていただきました。8月23日には、室一・本一両町会の「夏休み子供納涼縁日、盆踊り大会」でも多くの子どもたちが楽しく参加させていただきました。暑い中、子どもたちが楽しめるようにご準備いただいた皆様のおかげで子どもたちにとっても夏休みの思い出の1ページになったと思います。これらの地域行事を通して、学校が休みの間も地域と子どもたちがつながっていること、それを支えてくださる皆様の愛情を強く感じ、その中で育つ子どもは本当に幸せだ感じました。

2学期は、1年で一番長い学期です。校外に出かけたり地域を題材にしたりしながら、これまで以上に地域や学校を支援していただく多くの皆様と関わらせていただきながら学びながら育つ機会が多くあります。子どもたちが、学んだことを試したり生かしたり発信したりすることで自信をつけていくことが楽しみです。地域の皆様、家庭、学校とのつながりの中で、多くの愛情を感じながら笑顔で学校生活を送ることができるよう学校として力を尽くして参ります。

赤城林間学校

第5学年主任

夏休み中、赤城林間学校が実施されました。多くの自然に囲まれた生活の中で子どもたちは、キャンプファイヤーをしながら歌って踊ったり、竹とんぼや勾玉づくりをしたりしました。また、調理実習ではカレーライスを作り、炊飯器を使わずお米を炊くことにも挑戦しました。キャンプファイヤーのダンスと歌では、明るく元気な声で大いに盛り上がり、工作では、一人一人集中しながら大切に作り上げていました。どの活動も子どもたちにとってとても楽しく、思い出に残る活動になったようです。

このようなアクティビティを友達と話し合いながら、時に助け合いながら取り組むことで、子どもたち同士の絆が深まったと思います。友達と支え合いながら何かに取り組むこと、集団生活をする上で心がけなければならないことなど、普段の学校生活では学べないことに気が付けたのではないのでしょうか。

この赤城林間学校で学び得た成功体験をこれからの学校生活に生かし、自分が理想とする高学年の姿に近づけるよう期待しています。

